

☆第2土曜日・観察会

気温が35度を超える日が続き、8月の第2土曜日でも大変蒸し暑い日となりました。

さて観察会ですが、この暑さを吹き飛ばすため(?)まず、童心に戻って「トンボつかみ」を行いました。虫アミと虫カゴを1人ずつ持ち、制限時間は約15分、場所はセンター近くの水辺です。スタート



樹齢約90年のコナラです

直後に2匹のトンボを捕まえた方もいれば、1匹も捕まえられずにショックを受けておられる方もいました。中には大物(オニヤンマ)をねらって待ち構えている方もおられましたが、残念ながらこの日の朝は姿をみることはできませんでした。制限時間になったので、まずはそれぞれに捕まえたトンボを見せ合い、じっくり観察です。全体で数えてみると、シオカラトンボ・ハグロトンボ・イトトンボの3種類、計8匹でした。オス・メスで体の色が違うトンボの話、4枚の羽がバラバラに動かせるという話、何を食べているのかという話をしました。その中でも今回のテーマはトンボの目の輝きです。

トンボの目は、小さな目(個眼)がたくさん集まって、大きな目(複眼)になっています。その個眼は六角形です。ハチの巣も六角形の集まりなのですが、自然界では何かと都合のよい形ようです。そして、とても簡易ですが、個眼の手作り立体模型を使ってキラキラ輝く瞳の秘密に迫りました。

今回の観察会は、最近森でよく見かけるハグロトンボがきっかけとなりました。ハグロトンボは、羽化してから体が成熟するまで、薄暗い木陰などで過ごしています。一般的に、トンボがいれば川がきれいと言われていますがそれだけでなく、成長するためには暗い森を必要としているトンボもいます。日々の保全活動で「あそこは明るい森にしよう、こっちは暗い森にし

よう」と計画的な活動を行ってきたため、この森に木陰などの薄暗いところを好むハグロトンボが多いのではないかと思います。生き物の多様性のためにも計画的な保全活動は大切なことだと考えた観察会となりました。



協力しての魚つかみ

☆第2土曜日 作業内容

8月は暑いので、作業はお昼までです。本日の作業メニューは4つ。1つ目はケヤキの林で草の手刈りです。去年の2月にドングリの木とケヤキの木を植栽したエリアですが、クズ三昧!おなじみのセイタカアワダチソウもニョッキニョキです。植栽した木は竹で囲って目印をしていたのですが、まずはその場所に辿り着く道をつくるため、草刈りからスタート。やっとのことで辿り着き、草で埋もれていた部分を丁寧に手刈りしていきました。2つめはくさはら広場のクズ・セイタカ退治でした。こちらのメンバーは若者ぞろい!なんと平成生まれの子が5人も集まってくれました。ひたすらクズを抜いてセイタカアワダチソウを抜いてという作業。3つめは機械刈り。こちらの作業はベテランさんをお願いしました。水辺の林付近にも植栽エリアがあるのですが、作業後はスッキリきれいに刈り取られていました。4つめの作業は、昼食作り。毎年8月のお昼は「男の料理」がテーマとなっております。自前の鉄板をご用意していただき、男気たっぷりの美味しい焼きそばをいただきました。他にも春雨サラダ、冷や奴、焼きナス、南瓜の冷製スープ。デザートにはハリヨ池で前日から冷やしていたスイカ!夏はやっぱりこれが最高ですね。お昼ごはんでは、ケヤキの林で発見した大きなカブトムシが子どもたちの人気者になっていました。

先月に引き続き、午後からレクチャールームに移動し、遊林会の活動写真の今昔を見ながら森の移り変わりを比較し、その変わり様に驚きの声が沸き、懐かしい話に花が咲きました。

9月の作業日は

9月14日(第2土曜日)、25日(第4水曜日) 9時~(遅刻可)

遊林会の作業会議「森の居酒屋」は **9月11日(水) 午後7時00分頃**

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

☆第4水曜日の作業

28日の作業日では、最近どんぐり広場でナラ枯れによって枯れた約15mのコナラの木を伐採しました。木の根元には“カシノナガキクイムシ”が開けた穴がたくさん開いており、木くずがぼろぼろとこぼれています。このままでは他の木も枯れてしまうので、伐採して薪にします。とても背の高い木なので、倒すコースをしっかりと話し合い、周囲の木に被害が出ないようにロープをかけて寝かし、伐採するコナラの木にはワイヤーをL字にかけてチルホールで引っ張りしました。伐採後に年輪を数えてみると、樹齢約90年ということがわかりました！伐採後は枝を払ったり、それぞれの大きさに切り分けていきました。だいたい思い通りの方向に倒れたのですが、近くにあったシデの木とウルシの木も折れてしまいました。ウルシの木は触れたり近くにいただけでもかぶれてしまう方もおられるようなので、根元から伐採をしましたが、なんとも言えない木の良においがしました。お楽しみの昼食のメニューは、煮込みハンバーグ、ゴーヤーチャンプルー、サラダ、具たくさんスープ、枝豆です。美味しく色鮮やかなご飯に、お腹も心も満たされました。

作業は午前中のみの予定でしたが、午後からは有志で夕方から行うイベント森の地蔵盆の準備（水風船作り等）を手伝っていただきました。

☆8月の木ままクラブ

さて、今月の木ままクラブは、暑さのため、活動は午前中のみです。活動は2つ。自然体験活動で使う竹が心許なくなってきたので、その材料取りと、植栽した後の下草刈りです。竹林では比較的日陰の中での作業でしたが、次の下草刈りではお日様の下です。ケヤキやドングリなど、植栽したばかりの幼樹の高さは2mほど。枝を張って日陰を作るには小さく、光を燦々ともらった下草たちはものすごい勢いで木を埋め尽くしていきます。それらに埋もれた木を守るために、木が大きくなるまで下草刈りを続けたいと行けないのですが…大変！

林業では諸説あるものの、密植する理由の1つとして、密植→地面に光を当てない→下草が生えにくい→下草刈りの手間が省けるというのがあります。今回、狭い面積ですが、その”手間を省く”という目的がよく分かる一日でした。

☆森のスタッフルーム情報

8月の前半はやまの子キャンプ、後半は森のイベントが目白押しで、あっという間に過ぎ去っていきました。その間も毎日クイズラリーを行っており、今年は延べ人数211人も子ども

たちがクイズをしに森に来てくれました！暑い中がんばる姿にスタッフも元気をたくさんもらいました。9月に入ると少し一段落といたいところですが、9月中旬からの学校の対応準備や、その他もろもろありますが、この夏を走り抜けた体と頭を一度リフレッシュさせて、秋に向けてがんばっていきたいと思います。

☆モリイコ！の子どもたち

夏といえばやっぱり水遊び！第4回目となる活動は、モリイコ！、モリイコ！Sともに水辺でのプログラムです。

モリイコ！では、午前中にザリガニ釣りにチャレンジし、午後から森の中を流れる水路を探検しながら生き物つかみを楽しみました。小さな子どもたちでも思った以上に大きな魚をゲットでき、とても楽しい1日を過ごせました。

モリイコ！Sでは、「森の水族館を作ろう！」というミッションで、大きな水槽で生き物を展示することを目指しました。簡単なトラップをみんなで作り、エサとなるミズも森から調達してハリヨ池に仕掛けたり、大きな網をつかって協力して追い込んで魚を捕まえたりして、難なく水槽を生き物でいっぱいにする事ができました！

☆定番のない陶芸家・村松卓氏を偲ぶ

遊林会の活動開始から15年が経過し、その間、多くの活動に関わってくださった方々をお見送りしました。また一人、皆様にお知らせしなければならぬことがあります。

作業は草の機械刈り専門、お昼からは河辺のクマとの延長戦で、トラ御用達テーブルで心許せる仲間と作陶や人生を熱く語っていた氏は、容易に作陶に妥協をしませんでしたので森では「定番のない陶芸家」と呼ばれていました。氏の穴窯で遊林会のメンバーも沢山参加して森のタケを燃やして作品を焼成したことや氏の指導で野焼き（窯を使わず、焚火の中で焼成するやり方）をしたこと、お昼に使用する食器を沢山提供してくださったことなどとても森との関わりの深い方でしたが、8月のある日、ヘムスロイド村で突如帰らぬ人となってしまわれました。氏を囲んでのトラ御用達テーブル、ある日のお姿が今も浮かんできます。後日、ヘムスロイド村でお別れの会があるようです。詳細がわかればホームページでお知らせしたいと考えています。

☆9月の作業は…

9月は久々の炊きこみご飯とお味噌汁、季節のお野菜を使つての数品を予定しています。